

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度川辺川周辺環境影響とりまとめ業務
業 務 概 要	計画準備 1式 環境影響準備レポートへの意見対応 1式 環境影響評価レポート及び評価レポート【補正】の検討、作成 1式 委員会等運営補助 1式 環境影響評価レポート【補正】公表対応 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 川辺川ダム砂防事務所長 齋藤 正徳 熊本県球磨郡相良村大字柳瀬3317
契 約 年 月 日	令和 6 年 4 月 1 日
契 約 業 者 名	令和6年度川辺川周辺環境影響とりまとめ業務水源地環境センター・いであ・
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麹町2-14-2 麹町NKビル
契 約 金 額	62,546,000円（税込み）
予 定 価 格	62,546,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	川辺川ダム砂防事務所管内外
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 4 月 1 日
履 行 期 間 (至)	令和 6 年12月13日
備 考	入札情報サービス（PPI） (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度川辺川周辺環境影響とりまとめ業務
2. 履行場所 川辺川ダム砂防事務所管内外
3. 契約の相手方 住 所：東京都千代田区麹町 2-14-2 麹町 NK ビル
会社名：令和6年度川辺川周辺環境影響とりまとめ業務水源地環境センター・いであ・建設技術研究所・建設環境研究所設計共同体
電 話：03-3263-9945

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、川辺川の流水型ダムにおける環境影響検討を行うにあたり、環境影響評価レポートの検討や公表、意見対応について検討を行うものである。

2) 業務の内容

計画準備	1式
環境影響評価レポートへの意見対応	1式
環境影響評価レポート及び評価レポート【補正】の検討、作成	1式
委員会等運営補助	1式
環境影響評価レポート公表対応	1式
報告書作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を28者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における「目的、条件、内容の理解度」が記載されていること、及び評価テーマの「川辺川の流水型ダムの環境影響検討手続き、及び評価レポート、評価レポート【補正】の検討・作成を行うにあたっての留意点」に対する技術提案について「与条件との整合性」、「提案内容を裏付ける類似実績等」について総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川辺川ダム砂防事務所 調査課長